

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年2月9日

事業所名 豊橋市こども発達センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた、改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・利用児の特性に合わせて、安全で快適に過ごせるよう配慮しています。	
	② 職員の配置数は適切である	6	0		・欠席児が多い場合は過剰になる場合もありますが、医療的ケア児や人工呼吸器装着児も通園しているため適切な配置数であると考えています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・汚物流し台は設置されていませんが、汚物処理の際には感染に注意して処理しています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	2	・エアコン、床暖房、加湿器、空気清浄機を子どもの体調に合わせて使用することで、快適に過ごせるよう工夫しています。	・利用児が多く、空間が狭い場合にも、活動内容を工夫して安全に楽しく過ごせるように配慮しています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・全関係職員で療育内容の話し合いや反省を行っています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・昨年度より保護者の方に評価をして頂いています。	・今年度から評価内容をホームページで公開します。改善内容についても公開していく予定です。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	・今年度から職員に自己評価を行いました。	・今年度から評価内容をホームページで公開します。改善内容についても公開していく予定です。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		・外部評価は行っていません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・市内の施設と交換研修をしています。 ・外部講師の研修に参加しています。 ・各自で研修に行った場合には、伝達講習を行っています。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・保護者のニーズは個人懇談の他、普段からコミュニケーションを丁寧にとるよう心掛けています。 ・子どもの課題は様々な専門職も交えて分析しています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	6		・重症心身障害児に適した、標準化されたアセスメントツールがないので、個々に合わせた方法で評価するように工夫しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・各項目を盛り込み、できるだけ具体的な支援内容になるように作成しています。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・毎月モニタリングをして、支援内容の確認を行い、スタッフ間の支援の統一を図っています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・原案は保育士が行い、他職種の意見を取り入れるために毎週打ち合わせをしています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・重症心身障害児の特性から、基本的なプログラムは1週間同じとし、児の反応に合わせて少しずつ発展させるようにしています。	
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・集団活動の難しさはありますが、友達と過ごす楽しさを感じられるようにしています。		

関係機関 や保護者との 連携	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・毎朝全職員で打ち合わせをする時間を設けています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	・⑮の通り、1週間ごとにプログラムを作成しているため、支援の振り返りも1週間ごとに行っていますが、重要なことはその都度共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・記録は毎日行い、週末に支援の検証を行い、次の活動に活かしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・毎月モニタリングをして支援計画に合った支援ができてきているかを確認しています。半年に1回モニタリング結果を保護者に伝えていきます。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・基本的には児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・保護者の了承を得た上で、必要時に情報共有をしています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・それぞれの児に関係する機関と、必要時には連絡がとれるような体制をとっています。 ・豊橋市の自立支援協議会内の医療的ケアに関する検討会に参加しています。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	・利用前に必ず主治医の診療情報提供書を提出してもらい、児の医療情報を把握するようにしています。 ・必要時、緊急時には協力医療機関(豊橋市民病院)と連絡体制をとります。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	6	・行っていません。	・保育所等との並行利用や移行のケースはありませんが、そのような場合は情報共有等を行っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・特別支援学校と入学前後に情報共有を行っています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	・市内の児童発達支援センターと交換研修を行っています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	・現在は行っていません。	・今後検討していきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	・センター内の他部署の職員が自立支援協議会子ども部会に参加しています。	・地域との関わりをさらに持つことができないうかが検討します。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・送り迎えの際に家庭での様子の聞き取り、療育中の様子を直接伝える他、通園ファイルを利用してやりとりをしています。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	・年に数回、専門職や先輩保護者を講師として講座を行っています。	
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・事務担当が説明を行っています。	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・児童発達支援計画の支援内容を説明する時間を個々に設定し、同意を得ています。	
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	・個人懇談以外は定期的には行っており、日々のやりとりの中で悩み等に対する相談に対して助言を行っています。	・定期的な機会を設けた方が相談しやすい場合もあるので、そのような機会を設けることも検討していきます。

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	・父母の会はありませんが、療育参観や園外行事、ゆり組講座等の際に保護者同士の交流が図れるようにしています。	・父母の会の必要性について再検討していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・保護者から相談があった場合は、その相談に適した職種が中心になって対応するようにしています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	・行事予定等は療育室内に掲示をするとともに、口頭や通園ファイルで連絡するようにしています。	・会報はありませんでしたが、今後、活動の様子を伝えるためのお便りの発行を検討していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・毎年、利用契約における個人情報使用同意書に対して署名をいただいています。 ・写真利用の場合は、その写真ごとに同意を得るようにしています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・子どもの表情や体調などを丁寧に見ながら、できるだけ子どもの気持ちを押し量るよう努力しています。 ・保護者に対しては、わかりにくい専門用語を使わないように気を付け、わかりやすく伝えられるよう工夫しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		・地域との関わりがほとんどないので、地域に開かれた事業運営について検討します。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		・各種マニュアルは策定しており、職員は周知できていますが、保護者への周知が不足しているので、周知する機会を設けます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・地震、火災、不審者に対する防災訓練を他部門と協力して行っています。非常食を食べる練習もしています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等、子どもの状況を確認している	6	0	・内服薬変更時は処方箋のコピーを提出して頂き、変更内容の確認と変更理由や症状を看護師が確認しています。 ・てんかん発作時の対応は保護者に確認し、職員間で情報共有をしています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・アレルギーのある場合は、食事を提供するレストランからの情報と照らし合わせてアレルギーを含む食事以外のメニューを注文しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	・センター全体で共有しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・研修会に参加し、情報共有しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	4	・身体拘束は行っていません。	・身体拘束を行う必要がある場合は十分に説明します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。